社会共創デジタル学環

CID : School of Collaborative Regional Innovation and Data Science

社会共創デジタル学環 WEBサイト
www.cid.yamagata-u.ac.jp

社会共創デジタル学環
2年 柴田 悠登 さん
山形県立霞城学園高等学校出身

山形の地域社会を活性化させ、地元に貢献していきます。

学環は学内でのカフェ経営や地域との交流といった実体験の機会が多く、実社会に近い環境で学ぶことができます。今は上山市長や地域の方をゲストに招いた授業を通して出会った方の元で活動しており、イベント運営など新しい経験や学びを得ることができました。

1週間のスケジュール（1年後期）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					江戸絵画の見方
2	人と共創Ⅱ		総合英語	映画で見る昭和の生活	地域とともにあゆんだ山形大学147年史
3	共創デジタルソリューションⅡ		共創実践演習Ⅱ	共創アントレプレナーシップⅡ	地域資料から考える歴史と民俗
4	山形の火山、世界の火山				
5					

みずから学ぶ（学環）（曜日に属さないオンライン授業）

取得できる学位・資格 資格の取得には所定の要件を満たす必要があります。	学士（社会共創学）	学芸員

学環って？

人口減少や高齢化が進行する地域社会が直面している課題を解決するには、課題を俯瞰して思考できる文系・理系の総合知を持ち、デジタルを利活用して課題を分析し、多様な人々と協働して解決策を創造できる人材が必要です。そこで山形大学では、「マネジメント力」の教育と「デジタル利活用力」の教育を柱とする文系・理系の学問分野を横断的に学ぶことのできる新たな学位プログラムを作りました。小白川キャンパスには「マネジメント力」に係るビジネス教育が担える人文社会科学部、「デジタル利活用力」に係るデータサイエンス教育が担える理学部、そして文理の多様な学際的専門知識と地域性を連動させた教育を行う教育学部があり、これら3学部を学部等連係課程実施基本組織としたものが「学環」です。

社会共創デジタル学環長
渡邉 信晃

※社会共創デジタル学環の英語名称であるSchool of Collaborative Regional Innovation and Data Scienceの頭文字をとって、「CID」とよんでいます。

STRONG POINT

【共創デジタルソリューション、
共創アントレプレナーシップ、共創実践演習】

地域課題の解決を図る実践的な能力を育成

本学環では、共創理論科目である「共創アントレプレナーシップ」と「共創デジタルソリューション」を通して、地域社会の課題を解決するために必要な「マネジメント力」と「デジタル利活用力」を身に付けます。「共創アントレプレナーシップ」では、マネジメントの論理的思考法やビジネスプランニングを通して、多様な人々と協働しながら地域課題の解決や、イノベーション創出に挑戦する実践的な能力を養います。「共創デジタルソリューション」では、AIやデータ解析などのデジタル技術の利活用による実データからの課題抽出や分析、解決策の立案などを通して、新たな地域価値を創造できる能力を養います。これらの学びを「共創実践演習」等の共創実践科目で実践し、地域社会に貢献できる人材の育成を目指します。

Researchers！ SDGsの先にある未来

ひとりひとりがもつ力を、それぞれのままで自然に発揮できるように。

当学環の情報についてチャットのかたちでお届けする仕組みです。ぜひご体験ください。

ヒトが本来もつ能力を自然に発揮できる仕組みの解明と、その理解に基づいたインタフェースの設計に取り組んでいます。特に注目しているのは、知識や文化の継承を支える基盤であると同時に、ヒトにとって高度で複雑な認知処理でもある「読み」です。実験を通じて読みのメカニズムを捉え、その知見をもとに、より快適に、より速く、より深く読むための情報提示方式を設計し、実装しています。また、大規模言語モデル（LLM）などの技術を用い、専門的で難しい資料や関心を持たれにくい情報を、読み手にとって身近で、読んでみたいと思えるかたちで届けることも重要な研究テーマのひとつです。こうした技術によって、誰もが自分らしく力を発揮し、その力が社会の共創へとつながっていく未来を目指しています。

ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、システム情報科学
小林 潤平 准教授

東北大学大学院工学研究科博士前期課程修了。大日本印刷株式会社に入社し、主幹研究員を経て、2025年より現職。公立はこだて未来大学大学院システム情報科学研究科博士後期課程修了。博士（システム情報科学）。

未完成がひらく想像力と、共創を生むデザイン。

未完成なプロトタイプが受け手の記憶や経験を呼び起こし、その解釈を手がかりに新たな発想や協働が生まれる認知的メカニズムを明らかにしながら、共創を促すデザイン手法の構築に取り組んでいます。専門知識の有無にかかわらず誰もが主体的に参加できる共創をめざし、低忠実度プロトタイプを用いた共創プロトタイピングスペースの運営や、企業との共同研究にも取り組んでいます。たとえば、株式会社メルカリ研究開発組織「R4D」との共同研究では、日常の想いや課題を起点にAIとともにデザインする共創プログラムを実施し、参加者が「自分ごと」としてアイデアを見出し、形にすることで、主体的にアイデアの実行者になっていくプロセスを支援しました。人口減少と高齢化が進む山形において、誰一人取り残されない包摂的な地域づくりを支える共創の場をデザインしていきます。

デザイン学、システムデザイン・マネジメント学
三冨 敬太 准教授

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科博士後期課程在籍（2026年9月学位取得見込み）。デザインファームS & D Prototyping株式会社、障害を強みに変える事業会社合同会社veerncа（ヴィアンカ）を創業・経営し、2025年より現職。

社会共創とは

社会共創とは、多様な地域の人々と協働して、地域課題の解決策を企画・立案し、地域社会の新たな価値を創造することを指します。現在の地域社会では人口減少や高齢化に伴い、地域課題の要因が複雑に絡み合い、原因の特定が困難になっています。これらの地域課題を解決するためには、複雑に絡み合った問題の本質を見抜く力と実践力が求められます。そのためには、幅広い視野から文系・理系の専門知識に基づく「多面的な思考力」と「総合的な判断力」、地域の現状に対して学んだ専門知識を変化に応じて「活用する力」、そして地域と「協働する力」を身に付ける必要があります。そこで社会共創デジタル学環では、地域社会の新たな価値を創造する力（社会共創力）を身に付けることを目標に、文系・理系の幅広い専門知識を学んでいきます。

養成する人材像

マネジメント力、デジタル利活用力及び文理の幅広い学問領域の学際的知識と論理的思考力を身に付け、多様な人々と協働して地域社会の課題解決に貢献することができる人材を養成します。

- 文理を横断する専門分野の知識と論理的思考力を身に付け、自身の有する能力を活かしながら様々な原因が複雑に絡み合う地域課題の解決に挑戦することができる人材
- 異なる背景や能力をもつ多様な人々と協働して地域課題の解決に取組めるチーミング力とコミュニケーション力、及び課題に応じたリーダーシップやフォロワーシップを発揮することができる人材
- アントレプレナーシップやビジネスの視点を持ち、デジタルを利活用して地域社会における課題の発見や分析、解決のための企画立案、新しい地域価値の創造に貢献できる人材

VOICE! CIDの学びに必要不可欠な地域の皆さまより、CIDの実践的価値と未来への期待についてコメントをいただきました

山形県みらい企画創造部統計企画課
課長補佐（政策統計担当）
浦山（うらやま） 善和（よしかず）様　※2026年3月末現在

山形県庁の統計企画課の浦山です。今の仕事は、人口減少をはじめとする本県の政策課題を統計データから分析するほか、県内の経済動向の把握、経済成長率や一人当たり県民所得を示す「県民経済計算」、経済波及効果の分析に用いられる「産業連関表」の作成・公表など、数字を通して地域の姿を可視化し、地域を支える基盤となる業務を担当しています。このたびご縁があり、CID1期生の導入科目「人と共創Ⅱ」で講義と演習を担当しました。学生の皆さんはとても前向きで、自ら考え、仲間と議論を重ねながらアイデアを形にしていく姿が印象的でした。「将来は地域に残り、地域課題の解決に貢献したい」と語る学生もおり、その強い思いに頼もしさを感じました。講義が進むにつれ、学生の視点はより広がり深まり、レポートの内容も回を追うごとに磨かれていく様子を間近で見ることができたことは、私にとっての大きな喜びでした。「地域の未来は明るい」と率直に感じる瞬間が何度もありました。CIDの4年間では、統計データをもとに地域の課題を読み解く力を身に付け、実際に地域に足を運んで活動し、多様な人々と共創しながら、課題解決や新たな価値観を創造する経験が待っていることと思います。こうした学びは、これからの社会に求められる「自ら考え、動き、共に創る力」につながります。山形での学びと経験を力に、地域のさまざまな場面で活躍されることを期待しています。

cafe mamenoki 店主／
川西町地域おこし協力隊
遠藤（えんどう） 友紀（ゆき）様（写真左）

cafe mamenoki／
川西町地域おこし協力隊
浅野（あさの） 剛（つよし）様（写真右）

※2026年3月末現在

私たちは川西町で地域おこし協力隊として活動しながら、cafe mamenokiを運営し、地域の人と人、人と地域をつなぐ場づくりに取り組んでいます。山形の魅力を発信しながら、地域の中で新しい挑戦が生まれるきっかけをつくれたらと思い、日々活動しています。現場で活動していると、少子化や担い手不足、空き店舗の増加など、地方が抱える課題を実感する場面がたくさんあります。一方で、外から来る人の視点や新しいアイデアが加わることで、地域の見え方が変わったり、新しい可能性が生まれたりすることも多いと感じています。山形大学社会共創デジタル学環の学生さんと関わる中で印象的だったのは、「やってみたい」という気持ちの強さです。地域のイベントや活動にも積極的に参加し、準備や運営にも主体的に関わってくれました。地域の人と話しながら新しいアイデアを出したり、実際に形にしようと動いたりする姿から、地域の中で何かに挑戦したいという熱意が伝わってきました。起業してみたい、地域とつながりながら何かを始めてみたい。そんな思いを持つ学生さんにとって、地域は挑戦のフィールドにもなるのではないかと思います。これからも地域と大学、そして学生さんたちが関わり合いながら、一緒に地域を盛り上げていけたら嬉しいです。

Focus!CIDならではの授業をのぞいてみよう

【人と共創Ⅰ（フィールドワーク）】
地域課題に向き合う実践的デジタル教育

本授業は、地域の課題を見つけるために、デジタル技術を活用する力を養成することを目的としています。授業の中では、知識をインプットするための座学だけでなく、実際に地域に赴くフィールドワークを実施し、住民の声を丁寧に聞き取ることで、課題を現場から理解する姿勢を育てています。さらに、収集した情報をもとにデータ分析やICTツールの使い方を学び、解決策を提案するプロセスを通して、実践的な思考力と表現力を身に付けられる構成としています。授業を通して学生は、地域を見る視点が広がり、自分の意見を積極的に共有できるようになります。最初は戸惑っていた学生も、活動を重ねるうちに主体性が芽生え、チームで協力しながら成果をまとめる力が確実に伸びています。今後は、より高度なデジタル活用や地域との連携を深め、学びと実践が循環する仕組みづくりをさらに推進したいと考えています。

【共創アントレプレナーシップ／共創実践演習（事業実践パート）】
知識を行動に変える起業家実践授業

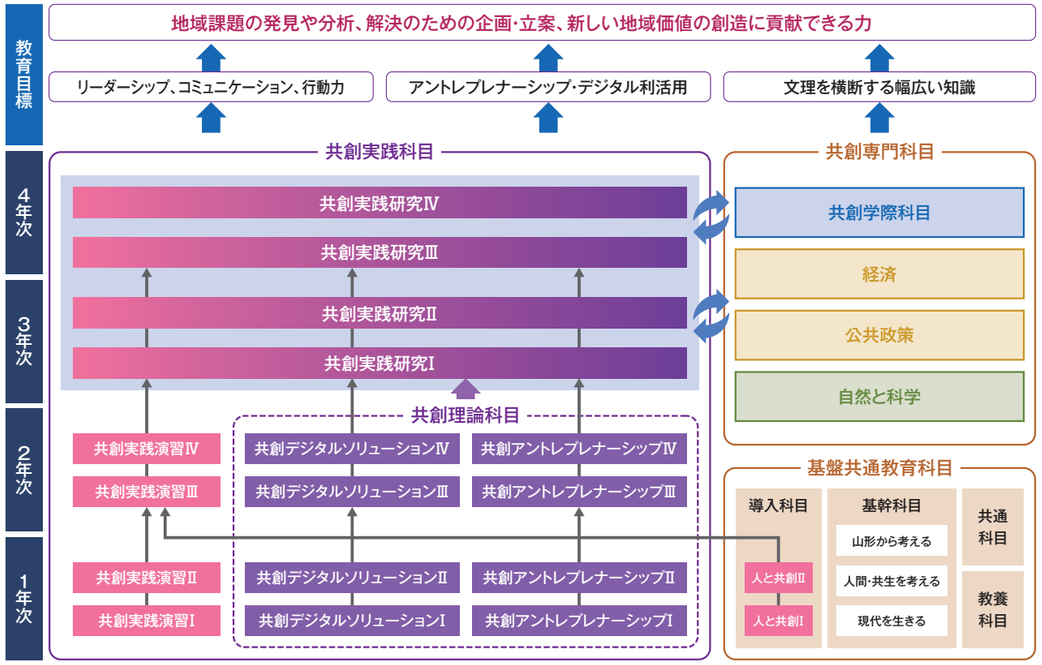
「共創実践演習」という授業の中で、学生がカフェ事業を立ち上げ、実際に運営するプロジェクトに取り組んでいます。学生は、事業アイデアの検討や計画の作成、準備、開店、そして運営までを自ら考え実践しながら学びます。この一連の授業は、「共創アントレプレナーシップ」で学ぶアントレプレナーシップ（不確実性の中で、手の中にある資源を起点に新たな価値を創造し、リスクを引き受けながら実現する精神と行動）を、実際の行動として発揮することを目的としています。特に、予測や計画に依存するのではなく、今ある手段から出発し、関係者との協働を通じて機会を創出していくEffectuationの考え方を重視しています。カフェの開店・運営のプロセスでは、想定通りにいかない出来事や失敗も数多く経験します。しかし授業では、それらを単なる結果ではなく、次の意思決定や行動につなげる学習機会として位置づけています。学生は自ら課題を発見し、仲間と対話しながら改善を重ねることで、不確実な状況における意思決定力と実行力を高めていきます。その姿はまさにアントレプレナーシップの実践であり、大きな成長の機会となっています。

【共創デジタルソリューション】
課題解決型実習に備えるグループ討論を中心にした反転学習講義

「共創デジタルソリューション（CDS）」は、情報リテラシーを身に付け、データを安全・適切に扱う力を備えた人材を育てる科目です。本授業の大きな特徴は「反転学習」というスタイルです 。まず、オンデマンド動画の視聴や小テストを通じて各自で予習を行います 。実際の対面講義では、4人1組のグループで議論を行い、学んだ内容を自分の言葉で表現・発表します。このプロセスを通じて、単なる知識の暗記ではない確実なスキルの定着を図ります。授業を通して、表計算ソフトによるデータ処理や統計学・数学の基礎知識が習得できます。また、データを図や表で可視化し、相関やトレンドを分析して表現する力も養われます。受講した学生は、受動的な学習から脱却し、シカゴのタクシー走行データから増収策を論理的に提案できるほど、実践的な姿勢へと変化しています。この講義は、将来取り組む課題解決型実習の土台となる重要な必修科目です。

教育の特徴

社会共創デジタル学環 カリキュラムツリー



社会共創デジタル学環　共創専門科目

経済

- ・ミクロ経済学概論１
- ・ミクロ経済学概論２
- ・マクロ経済学概論１
- ・マクロ経済学概論２
- ・経営学概論
- ・経済学説史概論
- ・統計学基礎
- ・統計学
- ・会計学１
- ・会計学２
- ・計量経済学１
- ・計量経済学２
- ・公共経済学
- ・地方財政論a
- ・環境経済学１
- ・環境経済学２
- ・マーケティングa
- ・マーケティングb
- ・中小企業論a
- ・中小企業論b
- ・ミクロ経済学３
- ・マクロ経済学３

公共政策

- ・地域政策論1
- ・地域政策論2
- ・行政学1
- ・行政学2
- ・地域防災論
- ・自治体経営
- ・地域社会学
- ・社会学概論
- ・調査方法論
- ・社会統計学
- ・家族社会学
- ・地理情報システム
- ・公共政策学1
- ・公共政策学2
- ・市民社会論

自然と科学

- ・自然共創科学Ⅰ(情報科学)
- ・自然共創科学Ⅰ(自然科学)
- ・自然共創科学Ⅱ(情報科学)
- ・自然共創科学Ⅱ(自然科学)
- ・自然共創科学Ⅲ(総合)
- ・データサイエンスⅠ
- ・数学Ⅰ
- ・物理学Ⅰ
- ・化学Ⅰ
- ・生物学Ⅰ
- ・地球科学Ⅰ
- ・データサイエンスⅡ
- ・数学Ⅱ
- ・物理学Ⅱ
- ・化学Ⅱ
- ・生物学Ⅱ
- ・地球科学Ⅱ
- ・数学Ⅲ

文　系　＋　理　系

共創学際科目

- ・日本中近世史概論
- ・日本近代史概論
- ・立体造形文化論
- ・彫刻論
- ・文化人類学概論a
- ・文化人類学概論b
- ・情報科学概論
- ・人間情報科学概論
- ・表象文化概論
- ・文化人類学基礎演習a
- ・文化人類学基礎演習b
- ・内陸アジア史概論
- ・地域アーカイブズ学基礎演習
- ・地域アーカイブズ学特殊講義
- ・地域アーカイブズ学演習
- ・課題演習(歴史文化実習)
- ・演習(地域アーカイブズ学)
- ・地域アーカイブズ学概論
- ・ライフステージと食
- ・食文化論
- ・食と健康
- ・栄養学概論
- ・調理と食生活設計
- ・地域食育実習演習
- ・心理学概論
- ・心理学統計法
- ・認知心理学
- ・産業・組織心理学
- ・ライフステージとスポーツ
- ・スポーツマネジメント
- ・地域スポーツにおけるコーチング学
- ・スポーツ医科学
- ・経営実践Ⅰ
- ・経営実践Ⅱ
- ・社会共創セミナーⅠ
- ・社会共創セミナーⅡ
- ・共創インターンシップ(国内)
- ・共創インターンシップ(国外)

研究の特徴

01 マルチメンター

多様な実社会の課題に向き合う力を育むため、研究指導ではマルチメンター制度を導入しています。各分野の専門家や実務家教員がチームで学生をサポートすることで、学術と現場の視点を融合させ、地域や社会での実践的な課題解決に挑む研究やプロジェクトを進めることができます。

02 オープンイノベーション

大学の知と地域・企業の知を結びつける「オープンイノベーション」に力を入れています。大学の中だけで完結せず、実社会のパートナーとともに課題を発見し、技術やアイデアを持ち寄って新しい価値を共に生み出していく実践の場を広げています。

03 学生提案型研究

共創実践研究では、学生自身が研究テーマを提案できる「学生提案型研究」の仕組みを用意しています。地域や社会の課題、自分の興味関心を出発点にして、教員や外部メンターと一緒に研究を深めていきます。自ら問いを立て、解決に挑む経験は、大きな成長につながります。

学生の声を集めました!

Q 学環の授業は、一般的な大学の授業と比べてどんな特徴があると感じますか?

■学生同士と教員の距離感が近いかなと思います。ただの講義といった授業はほとんどなく、ワークが多いです。特にグループで動くことが多いので仲良くなりやすいと思います。
■グループワークがかなり多く、同級生と話す機会が非常に多いです。また実践機会も多く、自分で体験して実感することができます。
■学校のこれまでの勉強を中心に問われるわけではなく、個人の考え方をデジタルを使って表現する機会が多いです。

Q 学環の教員や学生の雰囲気について、どのように感じていますか?

■とにかく楽しいです!人数が少ないのでみんな仲良く雰囲気がいいです!
■多種多様な研究分野の教員が在籍していることから、色々な分野のイベントに参加しやすい雰囲気でした。自分の興味のあるイベントを発見・参加しやすい場でした。
■授業の中で外部から多くのゲストの方が来てくださるので、外部の方と繋がる機会も多く、自分の将来のために繋がりを作りたい学生や起業を考えている学生にとって、ビジネスチャンスや繋がる機会は多いかと思います。

Q 文系・理系どちらの学生でも、授業についていけると感じますか?

■授業ではグループワークが多いので、その中で文系・理系それぞれ得意な人に聞くことができるので大丈夫です!また、文理が混在している授業や課題が多いので、まずは得意なところから活かしていくと良いと思います。
■授業によっては事前課題があるため、分からないところがあっても事前に把握できるので、ある程度対策ができます。
■PC を活用した作業を問われる場面が多いことと、分からない部分があれば得意な人に聞く能力が最も求められると感じたため、文系・理系関係なく、ついていくために一番必要なスキルは IT 活用スキル、PC スキルとコミュニケーションスキルだと思います。
■数学が得意ではない人でも、予復習や教え合いで乗り越えられます。

入試の特徴

社会共創デジタル学環では、学校推薦型選抜Ⅰ、一般選抜(前期日程)、一般選抜(後期日程)の3つの入学者選抜を実施します。学校推薦型選抜Ⅰでは面接と集団討論を課します。また、一般選抜(前期日程)では大学入学共通テスト(5教科5科目)と面接を課し、一般選抜(後期日程)では大学入学共通テスト(5教科5科目)だけを課します。詳細は山形大学ウェブサイト等をご確認ください。

オンライン相談会を随時実施しています

本学環では、受験生を対象にオンライン相談会を実施しています。右のリンクから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上、お申込みください。

※所属高校の担当教員が代表者としてお申込みください。

山形大学について知っててほしい

1 キャンパスが変わる2年次からの住まいはどうしているの？

医学部の場合：1年次から飯田キャンパスで授業があり、小白川キャンパスとの行き来が必要です。2年次以降は飯田キャンパスのみでの授業となるため、最初から飯田キャンパス周辺に住む学生が多いです。小白川キャンパス⇔飯田キャンパス間の移動方法（バスや自転車等）は調べておくと、安心です。

工学部・農学部の場合：1年次は小白川キャンパスでのみ授業があります。2年次から工学部は米沢キャンパスへ、農学部は鶴岡キャンパスへ移行します。一人暮らしの場合、2年次に引越する必要があるため、1年次には家具や家電を揃えすぎないように注意！ 例年、1年次の5月頃から、各キャンパス近くの物件を、生協や不動産会社で探す人が多いです。各キャンパスの近くに学生寮もあります。【詳細▶P.70】

（米沢市は都市ガス物件が少なく、場合によってはガスコンロの買い替えが必要になる場合もあるのでご注意。）

2 小白川キャンパスのまわりは住みやすい？

スーパーやドラッグストア、コンビニが近くにあり、住みやすい環境です。ただお店によっては少し遠いこともあるので、自転車があると安心。キャンパス近くのバス停から仙台行きの高速バスも出ているので、気軽に買い物や遊びに行くこともできます。仙台から通学している学生もたくさんいます。

山形～仙台間の所要時間

仙台駅前 ―（約1時間）― 南高前 ―（徒歩7分）― 小白川キャンパス

山形～仙台間の運賃

片道	1,100円	2回券	2,100円	6回券	6,000円
通学定期券（1ヶ月）	29,700円	通学定期券（3ヶ月）	84,600円		

※最新の状況については宮城交通または山形交通のホームページ等でご確認ください。

3 入学前に準備しておくことはある？

まずは必要なものをリストアップ。引っ越す人は、何を・いつ・どこで購入するかを早めに考えてみてください。準備だけでなく、地元の友人との時間も大切に！

4 友だちや先輩とすぐ知り合えるか不安。大丈夫かな？

4月にある生協学生委員会主催のFriend Startに参加してみては。また、山形大学はサークル活動も盛んなので、サークルの新歓に行くのもおすすめ。もちろん、生協の「先輩アドバイザー」のようなサークル以外の団体やアルバイトでの機会もありますし、授業やオリエンテーションを通してもつながりをつくれます。

5 生活費はどれくらいかかるのかな？

1ヶ月の収支例

自宅生		
収入	小遣い	¥14,500
	奨学金	¥11,100
	アルバイト	¥39,000
	合計	¥64,600
支出	食費	¥ 12,500
	交通費	¥11,600
	教養娯楽費	¥10,200
	書籍費	¥1,100
	日常費	¥4,500
	電話・通信	¥4,300
	その他	¥2,400
	貯金	¥17,800
	合計	¥64,400

自宅外生		
収入	仕送り	¥61,100
	奨学金	¥26,600
	アルバイト	¥29,600
	合計	¥117,300
支出	住居費	¥46,900
	食費	¥25,900
	交通費	¥2,400
	教養娯楽費	¥11,100
	書籍費	¥1,000
	日常費	¥5,900
	電話・通信	¥4,800
	その他	¥5,100
	貯金	¥18,600
	合計	¥121,700

※『第61回（2025年）学生生活実態調査（データ集）山形大学生協調べ』を参考に一部省略して掲載

6 一人暮らしの物件選びのポイントは？

大学との距離が一つのポイントです。特に雪道に不慣れな人や大学構内で勉強したい人は、大学の近くがおすすめです。また、1年間しか住まない工学部・農学部の学生と、4年間（または、6年間）を見据えた他学部の学生では、住居の条件が異なります。進級時に引越する人は、家電付きの物件もおすすめです。まずは、家族と条件を相談してみましょう。

10のコト

7 ランチタイムは学食？それともお弁当？

お弁当を持参する節約派もいますが、小白川キャンパスには学食が３つあり、一定額まで使える定期サービスもあるのでお得に利用できます。イートインだけではなくテイクアウト用のお手頃なお弁当もおすすめ。また、2年次から他のキャンパスに移っても、キャンパスごとに学食があるので安心してください！

生協食堂テール内観

生協食堂テール	自分の食べたいものを組み合わせて食べるカフェテリア方式の食堂、日替わりで主菜・副菜・丼ぶり・カレー・サラダ・小鉢・ホットスナック・ライス・汁物・デザートなどを提供
生協食堂ボム	日替わりで様々な麺（ラーメン・うどん・そば）やサラダ・小鉢・デザートなどを提供
厚生会館食堂	1階・2階で異なるメニューが楽しめ、2階の奥にはカフェもあります。

8 大学生になって大きく違うことは何かな？

大学ではまず自分から行動し、たくさん経験することが大切です。また、自由な生活ができますが、その分自己責任となることも増えます。特に一人暮らしの人は体調や金銭管理に気を付けましょう。大学ではパソコンをよく使うので、不慣れな人は練習しておくと良いかも。また、勉強することと友人を大切にすることは高校生でも大学生でも大事です！

9 困ったときはどうすればいい？

学業のことは担当のアドバイザーの先生へ。他にも学生センターの「なんでも相談コーナー」は何でも相談を受け付けてくれて、内容によって専門の部署や外部機関を紹介してくれます。また、新生活準備の相談なら山形大学生協に聞けば間違いないです。

10 履修科目はどうやって決めているの？

配付されるシラバスや便覧を読んで、まずは進級・卒業条件をチェック！ 分からないことや必修科目がある人は担当アドバイザーの先生や教科の先生に相談。履修のような重要な情報は掲示板で告知されるので、こまめなチェックはマストです！

山形大学の授業時間割

1・2校時	8:50～10:20
3・4校時	10:30～12:00
お昼休み	12:00～13:00
5・6校時	13:00～14:30
7・8校時	14:40～16:10
9・10校時	16:20～17:50

※2025年7月現在のものです。

取材協力

山形大学フリーペーパーサークルY-ai!（ヤイ）

山形の魅力を若者や地域の人に広めるべく、年に2回フリーペーパーを発行しています。企画・取材・編集まで学生が行います。山形のお店や暮らしを取材し、学生ならではの視点で情報発信をしています！

@INFO_YAIYAI

山形大学生協先輩アドバイザー

山形大学生協では、山大生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう新生活準備のサポートを行なっています。現役の山大生である「先輩アドバイザー」が案内役となり、お部屋探しやパソコンなどの大学生活に必要な準備をお手伝いしています。まずは受験期/合格後に開催される「説明会」でお会いしましょう。

TEL:023-624-3701

※山形大学の窓口とは異なりますので、必ず上記の電話番号にお問い合わせください。

山形大学生協の新生活準備の情報はこちら→

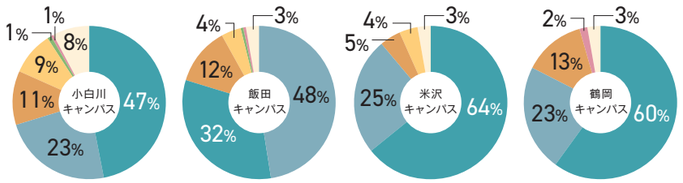
データで見る

山形大学生 Style

山形大学に通う先輩たちは、どんなキャンパスライフを送っているのだろう。
勉強はもちろんだけど、気になるライフスタイルをピックアップしデータにしてみました。
皆さんの未来のキャンパスライフの参考にしてみては?

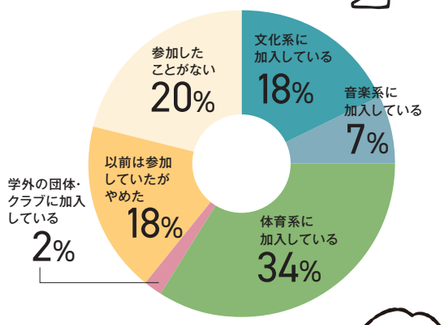
Q 大学に通う交通手段は何？

どのキャンパスも徒歩か自転車通学が基本です。小白川キャンパスは仙台から通う学生も多く、高速バスなどを利用する学生もいます。



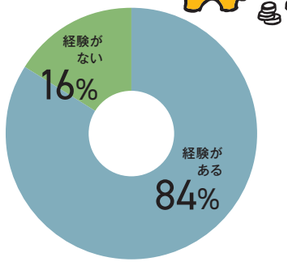
Q みんなサークルに入っているのかな？

忙しそうに感じる大学生活ですが、意外にアクティブに活動している山形大学生。6割程度の学生がサークルやクラブに所属しています。勉強だけでなく、時にはリフレッシュも大切。



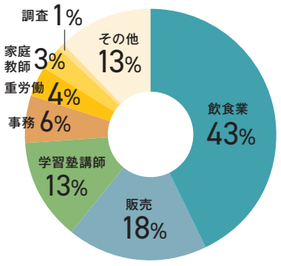
Q みんなアルバイトはしているのかな？

全体では8割を超える学生がアルバイトを経験しています。学部によってばらつきはありますが、先輩たちは1日の時間を上手く活用して、アルバイトをしています。



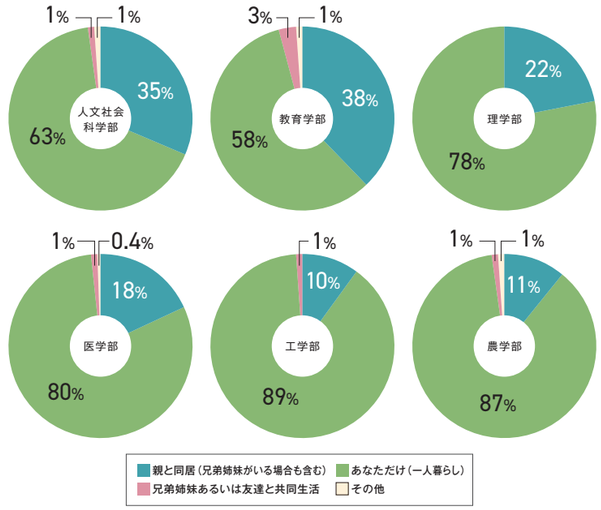
Q アルバイトの職種は何ですか？

どの学部でも同じ傾向で、飲食業や販売、学習塾講師といった業種でのアルバイトが多いのが特徴。ちなみにアルバイトの1か月の平均収入は、5万円未満が7割を占めています。



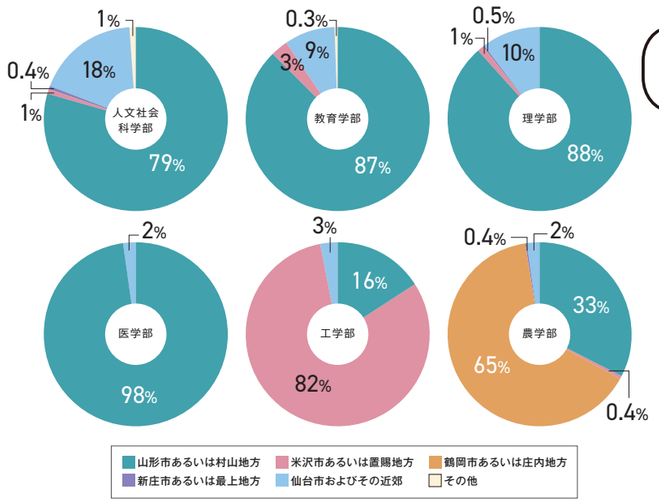
Q みんなのお住まいは、どうなっている？

全体として一人暮らしの割合が非常に多い山形大学。小白川キャンパスの3学部については、他のキャンパスと比べて、親と同居の割合も多いのが特徴です。



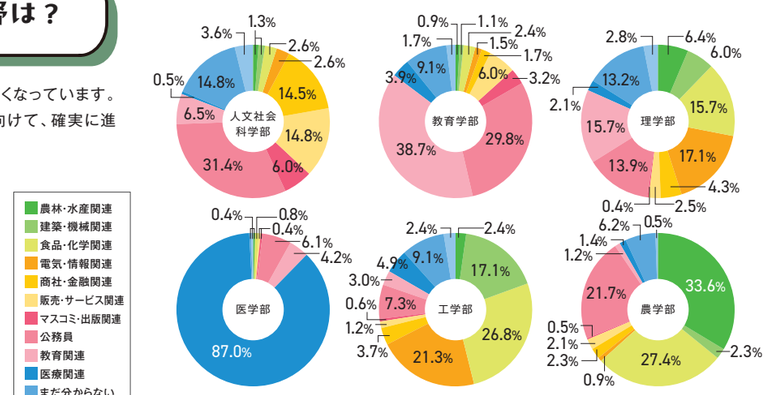
Q 現在、住んでいる場所は？

当たり前ですが、各キャンパスの所在する地域に住んでいる学生が圧倒的。1年次は小白川キャンパスで授業を受けるので、工学部・農学部でも山形市に住んでいる人が一定数います。小白川キャンパスには、仙台及びその近郊から通う学生もいます。



Q 将来、働きたい分野は？

学部ごとに専門に関連する分野の割合が高くなっています。山形大学を舞台にそれぞれの夢の実現に向けて、確実に進んでいます。



※「山形大学 学生生活実態調査2026」より日本人学生の回答を元に作成
※教育学部については、改組前の地域教育文化学部の実績を記載しています。

Campus キャンパス紹介

学びの舞台となる4つのキャンパスが広がります。

小白川キャンパス
山形市

人文社会科学部　理　学　部　教 育 学 部　社会共創デジタル学環

市内中心部はもちろん仙台とのアクセスも便利。全学部・学環生1年次はここを拠点に学生生活を送ります。

DATA

8月:最高気温の平均　33.2℃
2月:最低気温の平均　-3.2℃
1月:最深積雪量　30cm

※国土交通省気象庁HPより2025年データ

米　沢キャンパス
米沢市

工　学　部

風情ある城下町・米沢市。豊かな緑の中に最先端の設備が充実。ここから新しい技術が発信されます。

DATA

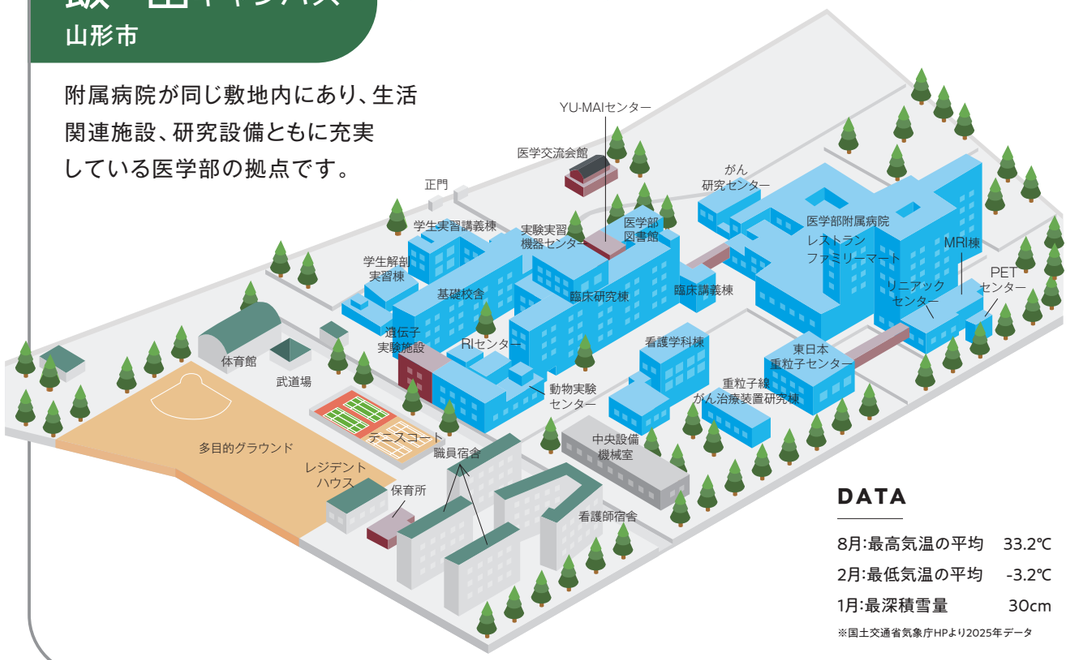
8月:最高気温の平均　33.2℃
2月:最低気温の平均　-5.0℃
1月:最深積雪量　113cm

※国土交通省気象庁HPより2025年データ

飯　田キャンパス
山形市

医　学　部

附属病院が同じ敷地内にあり、生活関連施設、研究設備ともに充実している医学部の拠点です。



DATA

8月:最高気温の平均　33.2℃
2月:最低気温の平均　-3.2℃
1月:最深積雪量　30cm

※国土交通省気象庁HPより2025年データ

鶴　岡キャンパス
鶴岡市

農　学　部

山形県の日本海側に位置する庄内・鶴岡市。豊かな自然に囲まれ、農学教育・研究に最適な環境です。

DATA

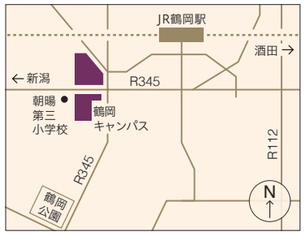
8月:最高気温の平均　31.7℃
2月:最低気温の平均　-0.8℃
1月:最深積雪量　35cm*

※国土交通省気象庁HPより2025年データ
(*注)観測地点の都合により、隣の市(酒田市)のデータを使用しています。

鶴岡 キャンパス

農　学　部

〒997-8555
鶴岡市若葉町1-23
TEL：0235-28-2805
・JR鶴岡駅から南西約1.5km



バス利用
JR鶴岡駅前 ― 鶴岡市内循環Bコース（左回り）（約5分） ― 農学部前 ― 鶴岡キャンパス

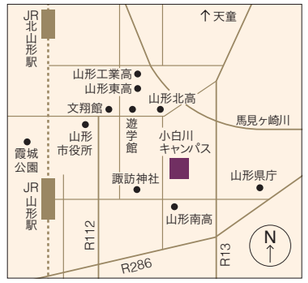
徒歩
JR鶴岡駅前 ―（約15分）― 鶴岡キャンパス

山形市から高速バス利用
JR山形駅前 ― 酒田線（約2時間） ― JR鶴岡駅前

小白川 キャンパス

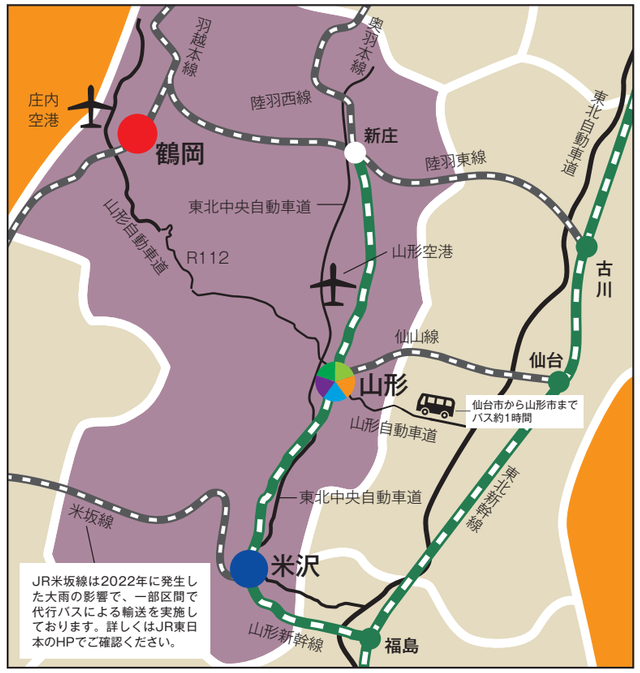
人文社会科学部
教育学部
理学部
社会共創デジタル学環

〒990-8560
山形市小白川町一丁目4-12
TEL：023-628-4063
・JR山形駅から東方へ約2.5km



バス利用
仙台駅前 ―（約1時間）― 南高前・山大入口 ― 徒歩（約7分） ― 小白川キャンパス
JR山形駅前 ― 「山形県庁」行（約6分） ― 南高前・山大入口
JR山形駅前 ― ベニちゃんバス ― 山大前 ― 小白川キャンパス
JR山形駅前 ― 東くるりん東原町先回りコース（約9分） ― 山大前

徒歩
JR山形駅前 ―（約30分）― 小白川キャンパス



ACCESS MAP

仙台から通う学生もたくさんいます！

山形市へのアクセス

- 札幌から山形　［飛行機］約1時間20分
- 仙台から山形　［電車］約1時間15分
  ［高速バス］約1時間（約15分間隔で運行）
- 東京から山形　［飛行機］約1時間
  ［新幹線］約2時間40分
- 名古屋から山形　［飛行機］約1時間5分
- 大阪から山形　［飛行機］約1時間15分

※空港から山形駅までシャトルバスで約35分

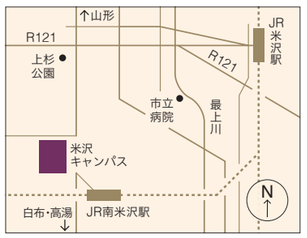
山形市から各キャンパスへのアクセス

- 山形から米沢　［新幹線］約35分　［電車］約45分
  ［車］約1時間
- 山形から鶴岡　［高速バス］約2時間
  ［車］約1時間30分

米沢 キャンパス

工　学　部

〒992-8510
米沢市城南四丁目3-16
TEL：0238-26-3419
・JR米沢駅から南西約2.8km



バス利用
JR米沢駅前 ― 市街地循環バス右回り（青色のバス）（約15分） ― 山大正門 ― 米沢キャンパス
JR米沢駅前 ― 学園都市線（Aルート）（約20分） ― 城南二丁目 ― 徒歩（約5分） ― 米沢キャンパス

山形市から電車利用
JR山形駅 ― 山形線（約45分） ― JR米沢駅

飯田 キャンパス

医　学　部

〒990-9585
山形市飯田西二丁目2-2
TEL：023-628-5049
・JR山形駅から南方約4km

バス利用
JR山形駅前 ― 「大学病院・東海大山形高」行（約15分） ― 大学病院 ― 飯田キャンパス
・小白川キャンパスから約5.5km

自転車
小白川キャンパス ―（約20分）― 飯田キャンパス
※バスの場合は、山形駅で乗り換え約30分

MESSAGE

未来を切り拓く皆さんへ
―山形大学からのメッセージ―

山形大学長
出口　毅

山形大学の歴史は、今から148年前の明治11年（1878年）に開校した山形県師範学校まで遡ります。当時は、日本が明治維新により、近代国家の建設へと歩み始めた時代でした。その後、明治から昭和にかけて山形県内で設置された5つの高等教育機関ー米沢工業専門学校、山形高等学校、山形師範学校、山形青年師範学校、山形県立農林専門学校ーを母体として、山形大学はいまから77年前、日本が第二次世界大戦の惨禍から復興を始めた昭和24年（1949年）に開学しました。山形大学と、その母体となった高等教育機関は、いずれも社会の大きな転換期に創設され、不断の変革により新たな未来を切り拓いてきました。その後、昭和48年（1973年）に医学部が設置され、現在では、東日本有数の総合大学として大きく発展し、10万人を超える卒業生・修了生が社会で活躍しております。

そして現在、山形大学は未来にむけたさらなる変革に踏み出しています。令和7年（2025年）4月から、本学で7番目の学部相当の教育組織として「社会共創デジタル学環」を開設し、本年4月には地域教育文化学部を教育学部に改組しました。21年ぶりに本学に教育学部が設置されました。また、令和6年度に採択された文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」が本格始動し、全学で研究力の強化に取り組んでいます。これからも山形大学は不断の変革で教育研究の機能を高め、社会の発展をもたらす有為の人材と新たな知の創出に取り組んでまいります。

いま、私たちの社会は、産業構造と自然環境が急速に変化し、予測困難で不確実性の高い時代を迎えています。世界は気候変動や紛争、経済格差など複合的な課題に直面し、不安定さを一層深めています。その一方で、AIなどの技術革新や国際協力によって新たな可能性も広がり、これからの人間社会のあり方として持続的な安定と成長が模索されています。こうした激動の時代、大学には絶えず問いを生み出し、社会と共に未来を切り拓く役割が期待されています。

皆さんは、社会の急激な変化の中でさまざまな困難に出会うことがあるかもしれません。そのたびに立ち止まり、ひとりで迷うこともあるでしょう。しかし、大学で過ごす日々は、きっとあなたの可能性と人間関係を広げ、突き当たる困難を乗り越える糧となってくれるはずです。大学生活は、まさに自分探しの旅です。どんな景色を見て、誰と出会い、どんな挑戦をするのか。そのすべてが、これからのあなたをつくっていきます。

山形大学では、学生と教職員を合わせて約1万人もの人々が、3つの使命「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」のもとで、教育・研究・医療・社会共創に全力を挙げて取り組んでいます。この大学案内2027があなたの新しい“旅”の入り口となることを願って、キャンパスで活躍する学生の姿と大学の活動をご紹介します。

サークル紹介

体育系から文化系までずらり。
学部・学科・コースを越えて得られる出会いは、
キャンパスライフを充実させてくれます。

小白川キャンパス

体育系 54

clover
～硬式テニスサークル～
King Kids
SALIBANDY部
Style＆表現研究会
アイスホッケー部
アクアライフ
汗をかく会（AKK）
アメリカンフットボール部
居合道同好会
空手道部
基礎スキー同好会
弓道部
競技舞踏部
剣道サークル
剣道部
硬式庭球部
硬式野球部
小白川バスケットボール会
小白川ビリヤードサークル
コピーダンスサークル
自然に親しむ会
二輪・総合運動部
柔道部
少林寺拳法部
女子バスケットボール部
女子バレーボール部
女子ハンドボール部
水泳部
スキー部
スポーツサークル
漕艇部
ソフトテニス部
ソフトボールサークル
卓球部
体育会サッカー部
男子バスケットボール部
男子バレーボール部
男子ハンドボール部
チアダンスサークル「Cherries」
軟式野球部
バーベルクラブ
バドミントンサークル スマッシュNo.1
バドミントン部
花笠サークル「四面楚歌」
パラグライダー部
バレーすっぞの会
バレーボール同好会
フェンシング部
フットサル同好会
フライングディスク同好会
ラグビー部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
ソフトテニスサークルtwist

文化系 43

IF（International Friendship）
IVY youth
JAZZ研究会
JCC
アカペラサークル「Smile」
囲碁将棋部
うたごえサークルとまり火
演劇集団舞台工房
お笑いサークル
音楽愛好会
音楽研究会
かるた部
くるみぼたんの会
軽音楽研究会
劇団めざましどけい
混声合唱団
茶道部
史跡サークル
篠笛愛好会
ジャグリング同好会
障害児教育研究会
書道部
吹奏楽団
聖書研究水曜会
チーム道草
地学研究会
美術部
まちの記憶を残し隊
フィルハーモニーオーケストラ
フリーペーパーサークル"Y-ai!"
文芸部
放送研究会
学び場プラス
漫画研究会
マンドリンクラブ
ラジオサークルHBK
歴史学研究会
科学イベントサークル SCITA
郷土食文化研究会
生物学研究会
ポケモン同好会
動物愛護サークルanifare
クイズ研究会

飯田キャンパス

体育系 24

バレーボール部
卓球部
バスケットボール部
少林寺拳法部
空手道部
水泳部
ラグビー部
陸上競技部
ゴルフ部
弓道部
バドミントン部
競技スキー部
硬式テニス部
ソフトテニス部
準硬式野球部
サッカー部
剣道部
フットサル部
ハンドボール部
ソフトボール部
合気道部
ワンダーフォーゲル部
モルック部
花笠サークル「四面楚歌」

文化系 8

DoD（Dance or Die）ダンス部
室内合奏団
軽音楽部 Sound Room
同窓会新聞部
映画部
囲碁将棋部
YMSA（Yamagata Medical Student Association）
かるた部

剣道部

昨年は東北大会で男女ともに準優勝!

東北大会優勝・全国大会入賞を目指して、学部や学年、性別を超えて楽しく活動しています。学生が中心となって稽古内容を考え練習しており、大会優勝者から初心者まで一丸となって目標達成を目指し、青春しています。

アカペラサークル「Smile」

楽しく歌うをモットーに活動中!

4つのキャンパスのサークル員が所属し、毎年12月にサークル主催の定期ライブを開催し、1年間の集大成を発表しています。大学のイベントの他にも、地域のお祭りやアカペライベントにも積極的に出演しています。

ワンダーフォーゲル部

山頂から見る景色は、この部だけの特権!

月に1・2度、週末に登山を中心とした活動をしています。東北の山々を中心に、夏や秋には南アルプスへの遠征も。ほとんどの部員は大学から登山を始めた人ばかりです。日本の自然を満喫したい人、お待ちしています。

囲碁将棋部

初心者も経験者も、盤上のドラマを堪能!

大会での活躍を目指し、週に2回集まり対局や戦法研究を行っています。それぞれが集中力を鍛え、実力を向上させるのはもちろんのこと、部員同士でのコミュニケーションも盛んです。興味のある人はぜひ。

米沢空手道部

組手の心理戦の奥深さを体感しよう!

直接打撃を当てない「寸止め空手」を基本としています。突きや蹴りなどで対戦する組手では、ゲームのような戦略性が求められ、心・技・体を磨いています。未経験者の方も一緒に空手で心地よい汗を流しませんか。

料理サークル「REGALO」

四季の食材と料理で交流を深めます!

毎週日曜日にメンバーが集まり、調理から後片付けまで一緒に行います。みんなで協力して料理を作るので自然と仲良くなり、完成した料理を食べる時間は、学生時代の思い出になること間違いなしです。

フットサルサークル

先輩・後輩、ボールも友達です!

毎年10月に開催される農学部主催の大会に向けて、毎週月曜日に活動を行っています。所属しているメンバー全員が楽しいこと好きで、先輩・後輩にかかわらず、練習中も試合も笑顔が絶えないサークルです。

ほとりあ環境調査サークル

鶴岡の自然が私たちのフィールドです!

鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」を拠点に、外来生物駆除などの環境保全イベントや湿地管理作業、ホタルの観察会など幅広く活動しています。教室では得られない自然の面白さを五感で楽しんでいます。

米沢キャンパス

体育系 32

ARK（バスケットボールサークル）
アクアライフ
アメリカンフットボール部
基礎スキー同好会
Big Boots
弓道部
硬式庭球会
硬式庭球部
硬式野球部
小白川バスケ会米沢支部
サイクリングサークル
サッカー部
サリバンディ部
自然に親しむ会
自転車競技部
自動車部
米沢空手道部
柔道部
少林寺拳法部
漕艇部工学部支部
ソフトテニス部
卓球部
バスケットボール部
バドミントン同好会
バドミントン部
パラグライダー部
男子バレーボール部
表現研究会
陸上競技部
花笠サークル「四面楚歌」工学部支部
工学部WorkOut
工学部ソフトボールサークル
クリケット部

文化系 25

JAZZ研究会
アカデミーストリングス合奏団
アカペラサークルLien
囲碁・将棋部
音楽サークル　青い空
ギターマンドリンクラブ
グリークラブ
軽音楽研究会
国際交流サークルYUICY
茶道部
ジャグリングサークル
吹奏楽団
古書研究会
地学研究会
コンピュータ研究会
漫画研究会
無線研究会
模型サークル
もの・まちづくりサークル縁
ゆきんこ
ロボ・タスティクス
写真サークルTAKE！
VR部
料理サークル「REGALO」
吾妻祭実行委員会【大学祭】

鶴岡キャンパス

体育系 19

アクアライフ
居合道サークル
剣道サークル
自然に親しむ会
ソフトテニス部
卓球部
軟式野球サークル ニャートルズ
バスケットボール部
バドミントン部
花笠サークル「四面楚歌」
バレーボール部
フットサルサークル
フライングディスク同好会
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
硬式テニスサークル Nanala
タッチフットサークル
山形大学少林寺拳法部鶴岡支部
心身統一合気道部

文化系 14

アカペラサークル Smile☆鶴岡支部
うたごえサークルとまり火
重音楽研究会
吹奏楽団
タキタロウボランティアサークル
テーブルゲームの会
農学部ジャズ研究会
結農やまがた
ほとりあ
環境調査サークル
森の民
鶴寿祭実行委員会
生協学生委員会 OH,ONE？
農学部茶道部
山大アニマルクラブ

From GRADUATES!

社会で活躍する卒業生からのメッセージ

野村證券株式会社
佐藤さん
2018年度　人文学部卒業

大学での学びを武器に、金融で地元の未来を支える。

山形大学ではマクロ経済学や金融論、国際経済学などを体系的に学ぶことができ、その基礎が今の仕事を支えています。大学のゼミで国際金融を学んだことをきっかけに金融業界に興味を持ち、地元に貢献できる仕事として証券会社を志しました。現在は市場の動きを分析しながら、お客様一人ひとりに合った金融商品やサービスをご提案しています。学んだ知識が実際に役立ち、お客様に喜んでいただけたときに大きなやりがいを感じます。山形大学は国内外の多様な学生と学び合い、手厚いサポートの中で成長できる環境ですので、充実したキャンパスライフを送り、自分の可能性を広げてください。

寒河江市立西根小学校
冨樫さん
2021年度　地域教育文化学部卒業
2023年度　教職大学院 教育実践研究科修了

憧れを胸に、子どもたちと歩む日々。

中学時代の担任の先生に憧れ、教員を志しました。大学で教育を学ぶ中で、その思いは「本気でめざす将来」へと変わっていきました。現在は小学校で担任と体育主任を務め、子どもたちの成長を間近で支え、行事を成功に導くことに大きなやりがいを感じています。教材研究について悩むこともありますが、同僚と意見を交わしながら日々研鑽しています。理論と実践を行き来する大学院での学びや、現場の声に触れた経験が、今の自分の土台です。皆さんには、山形大学で総合大学ならではの学びで視野を広げてほしいと思います。山形の子どもたちを支える仲間になれる日を楽しみにしています。

株式会社パナソニックシステムネットワークス開発研究所
菅原さん
2019年度　理学部卒業
2021年度　大学院 理工学研究科修了

理学部での学びや経験が、最先端技術を支える力に。

大学で学んだ知識を活かせること、そして地元仙台に本社があることに魅力を感じ、この仕事を選びました。現在は無線通信システムのデジタル部分の開発を担当しています。高度な数学や物理の知識に加え、理論を実際のシステムへ落とし込む技術や、お客様との調整力も求められる仕事です。自分が設計したシステムが理論通りに動いた瞬間には、大きな達成感があります。理学部で培った数学・物理の基礎や実験・研究室での経験は今の業務に直結しています。基礎から応用まで段階的に学べる環境が、社会で活躍する力につながっていると実感しています。

山形大学医学部附属病院
横山さん
2019年度　医学部卒業

命を支える使命感が、医師としての原動力に。

現在、山形大学医学部附属病院で麻酔科医として働いています。麻酔科を選んだのは、手術中に患者さんの命を守る重要な役割に強く惹かれたからです。麻酔科医は、患者さんが安心して手術を受けられるよう麻酔を行い、痛みの治療にも取り組みながら、安全に手術が進むよう支えています。無事に手術を終えたときには、大きな達成感とやりがいを感じます。高校時代に山形大学を知り、幅広い学びや早期から医療の現場を経験できる環境に魅力を感じて進学しました。大学での多様な経験は、医師となった今も確かな支えです。自然豊かな山形で、ぜひ医師としての可能性を広げてみてください。

株式会社登米村田製作所
伊藤さん
2024年度　工学部卒業

実践的な学びを活用し、ものづくりの第一線へ。

高校時代からものづくりに携わりたいと考えており、大学で機械工学を学ぶ中で、その想いはさらに強くなりました。現在は生産設備の導入や改善を担当し、高品質な製品づくりを支えています。調整が難しい場面もありますが、生産が無事に始まった瞬間の達成感は大きなやりがいです。山形大学で学んだ幅広い機械分野の知識や、CAD・製図などの実践的な技術は今の仕事に直結しています。多様な仲間と切磋琢磨できる環境での学びは、将来必ず自分の力になります。夢を現実に近づけたい人に山形大学は最適な大学です。

日新化工株式会社
長島さん
2022年度　農学部卒業

夢を仕事に変え、製品開発の最前線で奮闘中。

幼い頃から食に興味があり、「お菓子の開発に携わりたい」という夢を抱いてきました。農学部では1年次に幅広い分野を学び、自分の関心や適性を見極めてからコースを選択できたことが大きな魅力でした。現在はチョコレートやカスタードクリームの製品開発を担当し、試作と改良を重ねながら、求められる味や品質を追究しています。試行錯誤の連続ですが、自分が関わった商品が店頭に並んだ瞬間の喜びは格別です。学生時代の飲食店アルバイトで培ったコミュニケーション力も仕事の現場で活きています。山形大学での学びと経験は自分の進む道を見つける大切な一歩となりました。

学びの多様性を知り、
自分らしく成長できる

山形大学での学び

基盤共通教育WEBサイト
www.ias.yamagata-u.ac.jp

- プレゼンテーションやグループワーク、レポートの書き方等、大学での学びの基本を身に付けます。
- 「人間・共生」、「山形」、「現代」をテーマにそれぞれのテーマから、学問の面白さを実感します。
- 専門分野に関わりなく、様々な学問分野に接し学ぶことで、学問の多様性を知り、知識の幅を広げます。
- 外国語によるコミュニケーション能力、数学・自然科学の基礎的知識や情報処理に関わる能力といった学問の実践に役立つ知識や能力を修得します。

入学

1年次

基盤共通教育

高校から大学へと接続する、学際と協働の学び

- **学問基盤力**
  自律的に課題に取り組む専門力
- **実践・地域基盤力**
  地域社会でリーダーシップを発揮する人間力
- **国際基盤力**
  実践的な英語で多様性に挑戦する国際力

3つの基盤力を育成します

全学部・学環

小白川キャンパス

基本的に1年次は
小白川キャンパスで開講します。
工学部フレックスコースは基盤共通教育、
専門科目の基礎とともに1年次から
米沢キャンパスで学びます。

2～3年次

身に付けた基盤力を基盤専門教育でさらに磨きそれぞれの学びへ

基盤専門教育

卒業研究や大学での学びにつながる
多様な研究実績を背景とした学び

学部の垣根を越え学び合い、成長できる

農学部
鶴岡キャンパス

工学部
米沢キャンパス

4年次

先進専門教育
卒業論文研究

人文社会科学部　教育学部
理学部　社会共創デジタル学環
小白川キャンパス

医学部
飯田キャンパス

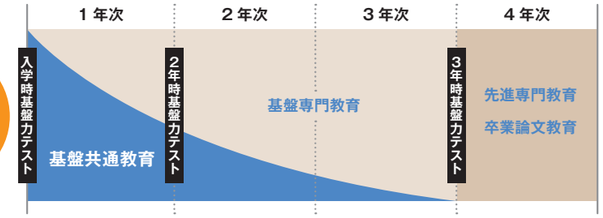
卒業

2年次以降のキャンパスについて

基盤共通教育は、基本的に全学部・学環とも小白川キャンパスでの開講となります。医学部、工学部、農学部については1年次に各学部の定める進級条件を満たすと、2年次から飯田、米沢、鶴岡の各キャンパスへ移行します。人文社会科学部、教育学部、理学部、社会共創デジタル学環については、引き続き小白川キャンパスで学びます。

※1年次では、基盤共通教育のほか、各学部で開講する、専門科目の基礎も学びます。医学部医学科は週2回、看護学科は週1～2回、飯田キャンパスで学びます。

カリキュラムのイメージ



Focus!気になる授業をセレクト

スタートアップセミナー

橋爪孝夫 学術研究院准教授(学士課程基盤教育院担当)

大学での「学びの型」を実践的に身に付ける

学部学環を問わず全ての山形大学生が初年次に受講する必修科目です。具体的なテーマに即したグループ学修を通じて「文献・資料調査」「課題発見・探究」「口頭発表」「レポート作成」といった技術を実践的に学び、大学での知的創造活動の基礎となる「学びの型」を身に付けます。大学での学びのベースを掴む、学部を超えた仲間との協働に取り組む、探究学習の力を確認するなどの目標に応じた学びの土台を築く時間です。

フィールドラーニング ― 共生の森もがみ

阿部宇洋 講師

地域の現状を知り・課題発見を経験する地域協同講義

地域と連携して協同で講義を行う講義は全国の大学にありますが、本講義は全国でもめずらしく約20年の連携実績があります。受講者は、山形県北部の最上地域を訪れ、1泊2日を2回、さまざまな体験をし、地域の課題を発見する活動を行います。大学に戻ると、その経験に基づき、課題発見、探究、プレゼンテーション、レポートと、大学の学びの基礎となる学びの技術を駆使して地域での活動をまとめます。今後の進む専門分野の基盤になる講義です。

ＡＩ時代の情報教育（数理科学）

加納寛子 准教授

AI時代に必要な学びの最前線:未来をデザインする力

本授業では、AIの基礎や数理科学の重要性を学びながら、現代社会で求められる情報活用力を身に付けます。ノーコードのツールを活用してAIモデルを実際に作成する演習も行います。AIの仕組みや活用例を分かりやすく解説し、実践的な課題を通じて、未来を創るための思考力や問題解決力を養います。プログラミング経験がなくても参加でき、楽しく学びながらこれからの時代に必要なスキルを身に付けることができます!

自己理解（キャリアデザイン）

松坂暢浩 教授・山本美奈子 准教授

自分を知ることから始まる「キャリアデザイン」

大学生活の過ごし方や将来について考えるうえで、自己理解はとても重要です。この授業では、「自分の長所は何か」「自分はどんなことに興味があるのか」「自分が大事にしたいことは何か」など様々な観点から肯定的に自己を捉え、自分らしさについて理解を深めることを目的にしています。また、社会で求められる「コミュニケーションスキル」の基本についても、併せて学修していきます。

学部・学環・学科等ラインアップ

将来のビジョンに合わせて専門性を磨き、人間性を高めていくことができる山形大学の多彩な学び。

教育目標はこちらから

アドミッションポリシーはこちらから

自分に合った学環・学部選びの参考にしよう!	学 科 等	コース		学びのキーワード	
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース グローバル・スタディーズコース 総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース		■海外体験 ■地方創生 ■外国語 ■政策提言 ■法的思考 ■企業課題解決 ■文化資源発見 ■グローバルとローカル ■計量分析 ■異文化理解 ■競争と格差 ■利害調整 ■公平 ■文化発信 ■地域文化研究 ■ジェンダー ■まちづくり ■観光 ■経済分析・経済政策 ■経営・会計	P.19
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教員養成コース 中学校教員養成コース 理数系教員養成コース 心理支援系教員養成コース		■教員 ■教育 ■幼児教育 ■小学校 ■中学校 ■高等学校 ■教科教育 ■ウェルビーイング ■ファシリテーター ■地域社会 ■インクルーシブ教育 ■ICT教育 ■児童心理 ■文理融合 ■幼小連携 ■小中連携	P.27
理学部	理学科			■数理科学 ■データサイエンス ■宇宙・天文 ■素粒子・原子核 ■物質科学 ■有機化学 ■無機化学 ■生体分子 ■遺伝子 ■生殖・発生 ■生物多様性 ■進化 ■地質・化石 ■岩石・鉱物 ■火山・地震 ■科学コミュニケーション	P.35
医学部	医学科 看護学科			■人体 ■法医学 ■生命の尊厳 ■病理診断 ■ゲノム医療 ■生命科学 ■遺伝子 ■再生医療 ■チーム医療 ■在宅医療 ■訪問看護 ■救命救急 ■保健・公衆衛生 ■地域医療 ■手術 ■がん治療 ■健康 ■QOL	P.41
工学部	高分子・有機材料工学科 化学・バイオ工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科 建築・デザイン学科 システム創成工学科(フレックスコース)	応用化学・化学工学コース バイオ化学工学コース 情報・知能コース 電気・電子通信コース		■環境 ■食料 ■化粧品 ■バイオ ■医療分野 ■福祉分野 ■GX ■DX ■データサイエンス ■エレクトロニクス ■IOTセンサー ■エネルギー ■ユニバーサルデザイン ■都市計画 ■3Dプリンタ ■熱流体 ■人工知能/ロボット ■有機EL ■宇宙産業 ■航空産業 ■自動車産業	P.47
農学部	食料生命環境学科	アグリサイエンスコース バイオサイエンスコース エコサイエンスコース		■在来植物 ■水資源 ■生物多様性 ■マーケティング ■機能性食品 ■生殖工学 ■6次産業 ■森林資源 ■環境保全型農業 ■環境汚染 ■微生物利用 ■有用遺伝子 ■食料生産 ■生命科学	P.55
社会共創デジタル学環				■社会共創 ■学際 ■総合知 ■地域課題解決 ■デジタルソリューション ■デジタル利活用 ■データ分析 ■アントレプレナーシップ ■マネジメント ■経済 ■公共政策 ■自然と科学	P.61
大学院	◆ 概 要 学部での学びの上に、より高度な専門知識・技術を積み重ねたいと求める学生のため、各分野で大学院を開設しています。社会人にも教育の場として門戸を開いています。			研 究 科 ■社会文化創造研究科(修士課程2年) ■理工学研究科(博士前期課程2年・博士後期課程3年) ■医学系研究科 医学専攻(博士課程4年)・先進的医科学専攻(博士前期課程2年・博士後期課程3年)・看護学専攻(博士前期課程2年・博士後期課程3年) ■有機材料システム研究科(博士前期課程2年・博士後期課程3年) ■農学研究科(修士課程2年) ■教職大学院 教育実践研究科(専門職学位課程2年)	P.67
養護教諭特別別科[1年課程]				本別科は1年課程の養護教諭(保健室の先生)養成機関です。看護師の資格を有する人が養護教諭としての専門科目をはじめ教育学や心理学そして学校保健関連の単位を修得することによって、養護教諭一種免許状を取得します。 【入学対象者】看護学校や看護短大および看護大学を卒業した学生	P.67

社会の高度化・複雑化に応える 5つの研究科と1つの専門職大学院 大学院

社会文化創造研究科

［社会文化創造専攻］の１専攻から構成され、社会文化システム、臨床心理学、芸術・スポーツ科学の3コースが設置されている。人文科学、社会科学、臨床心理学および芸術・スポーツ科学を核にしながら、人間社会を「社会」と「文化」の関係から捉え直し、地域的な展開を新たに創造・実践できる人材を育成する。

理工学研究科

博士前期課程は［理学専攻］［化学・バイオ工学専攻］［数理情報システム専攻］［建築・デザイン・マネジメント専攻］［機械システム工学専攻］に分かれ、各専攻における幅広い知識や技能を身に付け、応用する人材を育成する。博士後期課程では［地球共生圏科学専攻］［先進工学専攻］に分かれ、高度な専門職従事者としての知識と技能をもち、自立して活動できる人材を育成する。

有機材料システム研究科

［有機材料システム専攻］では、有機材料システム分野における技術を社会（地域）に実装するためのエンジンとなる学生の探究心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を養成する。

医学系研究科

［医学専攻］［先進的医科学専攻］［看護学専攻］を設置している。現代の多様な課題を解決する力を持つ人間性豊かな医療人・研究者・技術者等を養成する。

農学研究科

［農学専攻］の１専攻で、この中に、幅広い研究分野を網羅した3つの領域（生物生産学、生物資源学、生物環境学）を設置している。これらの領域を基盤にし、今後の社会で活躍できる農学系の高度専門職業人の育成を目的とする。さらに、これらの領域を横断的、複合的に捉え、高度な知的能力を持ち、国際的に通用する人材の育成にも取り組んでいる。

教職大学院 教育実践研究科

「実践と理論の往還」による教員の養成と研修に特化した専門職大学院。先端的な理論の教育に加え、地域や社会が求める実践的な教育との懸け橋の役目を果たす。現職教員学生（社会人）と学部卒学生が、日々、学び合いながら、教職の高度な専門性を身に付けている。学部から大学院までの一貫教育を行う「チャレンジプログラム（6年一貫教育）」も設けている。

養護教諭特別別科［1年課程］

入学対象者 看護学校や看護短大および看護大学を卒業した方

取得できる免許 養護教諭一種免許状

本別科は１年課程の養護教諭（保健室の先生）養成機関です。
看護師の資格を有する人が養護教諭としての専門科目をはじめ教育学や心理学そして学校保健関連の単位を修得します。

授業紹介

1年間という限られた時間の中で、養護教諭としての専門科目はもちろん、教員となる上で必要な基礎的分野を学び実習も行われます。これらの学習を通して、学校における児童生徒の「養護」、そして学校保健活動の展開について、実際的に深く学ぶことができます。

一般教育科目	外国語コミュニケーション、日本国憲法、情報機器の操作　等
保健体育科目	体育Ⅰ・Ⅱ、スポーツ原理、トレーニング論　等
教職科目	教育原論、発達心理学、道徳教育の理論と実践　等
障害児教育関連科目	特別支援教育総論、障害児の発達
専門科目	衛生学、学校保健Ⅰ・Ⅱ、養護教諭論Ⅰ・Ⅱ、養護活動演習、健康相談活動論、学校における救急処置、栄養学・食品学　等

健康診断実習

実際に学生が計画・立案・実行する実習で5月に実施されます。山形大学小白川キャンパスで行われる健康診断を活用して学校における定期健康診断を体験します。

養護実習（教育実習）

3週間の養護実習が8月下旬から9月中旬にかけて実施されます。
山形市内の小中学校に実習校として配属されます。

［教員採用状況］

最近５年間の本別科修了生は、山形県、宮城県、岩手県、福島県、青森県、秋田県、北海道、新潟県、群馬県、栃木県、川崎市、東京都、埼玉県において養護教諭として採用されています。

国際交流・留学

詳細はこちらから

山形大学は世界各国の大学・機関と学術交流協定を結んでおり、交換留学や交流の機会が開かれています。語学留学等で世界を体験する学生も少なくありません。また、海外から山形大学へやって来た留学生も多く、キャンパス内の国際交流も日常風景です。

山形大学の海外留学プログラム

「学生大使」派遣プログラム

本学の海外拠点校において、2～3週間程度、「学生大使」として滞在し、現地学生へ日本語を教えながら日本文化や山形大学を紹介する短期研修プログラムです。

各学部における短期派遣研修プログラム

各学部において、海外協定校等での1週間程度の研修プログラムを実施しています。一部プログラムは他学部からの応募も可能となっています。

山形大学短期派遣留学制度

本学と学生交流協定を締結している協定校へ、半年または1年間の交換留学を行う制度です。留学先の授業料はかかりません（語学研修等が必要な場合は別途授業料が発生します）。また、留学先で取得した単位を本学の卒業単位として認定することも可能です。

学内での国際交流

山形大学短期受入プログラム（STEP-YU）

本学と学生交流協定を締結している協定校から、半年または1年間の短期で外国人留学生を受け入れています。日本語や日本文化について学んでいる学生が多く、毎年約50名を受け入れています。

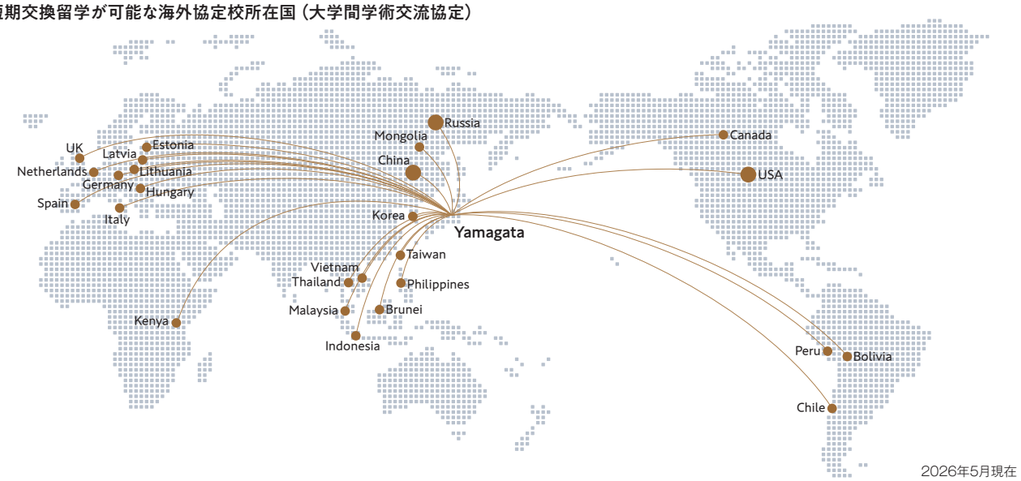
チューター制度

本学に留学している外国人留学生が早く馴染めるよう、日本人学生が学習・研究・日常生活に関する支援をする制度です。留学生と積極的に交流したい方や、留学生の出身国について深く理解したい方にはおすすめの制度です。

国際交流サークル

小白川キャンパス、米沢キャンパスでは国際交流サークルが活動しています。四季の行事や大学祭等のイベント等での交流等、様々な活動を行っています。
小白川キャンパス:IF（International Friendship）
米沢キャンパス:YUICY（Yamagata University International Circle in Yonezawa）

短期交換留学が可能な海外協定校所在国（大学間学術交流協定）



2026年5月現在

体験レポート 悔しさをバネに勉強の日々。学びに意欲的になることができた留学体験です。

地域教育文化学部　地域教育文化学科 文化創生コース 4年
中西　凜さん　茨城県立緑岡高等学校出身

私はリトアニアのビリニュス大学に1年間留学をしました。初めは先生の話していることが聞き取れず、ただ座っているだけの毎日でした。しかしその悔しさが私を突き動かし、図書館で授業の予習復習を含め必死に勉強しました。そうして過ごすうちに、少しずつ授業に慣れ、スラスラと論文が読めた時はとても嬉しかったのを覚えています。大学や寮生活、イベント等を通して多様な国の人たちと関わることができました。思い出はたくさんありますが、留学して一番良かったと思うことは、より意欲的に勉強に励むことができたことです。

学生サポート

学生サポート

各キャンパスに相談窓口を設置し、学生生活を修学面･生活面に限らず多方面からきめ細かく支援します。

アドバイザー制度

山形大学では、きめ細かな指導を行うため、学生の皆さんに対して責任を持って指導するアドバイザーが決められています。各学部の教員でもあるアドバイザーが修学面･生活面に関わらずさまざまな相談にのり、指導･助言を行います。

なんでも相談コーナー

小白川キャンパス学生センターに「なんでも相談コーナー」を設けています。日常生活のこと、勉強に関すること、その他さまざまな悩みごとなど、なんでも相談できますので、遠慮なく話しかけてください。相談内容に応じて、学生相談室や学内外の相談機関を紹介することも可能です。また、学生自身はもちろん、学生の父母等の皆様からも、直接ご相談を受け付けています。

保健管理センター

健康で充実した大学生活を送れるよう「健康管理･健康支援」を行っています。小白川キャンパスには医師と看護師、他キャンパスには看護師がおり、ケガ等の応急処置や心身の健康に関する相談等に応じています。

学生相談室

各キャンパスの学生相談室には、専門のカウンセラーが在中しており、学生の抱えるストレス、対人関係、性格、心身の健康その他心のお悩みについて相談に応じています。また、精神的な健康については、精神科学校医も相談に応じています。

キャリアサポートセンター

各キャンパスにキャリア･就職支援を専門に行う窓口を設置しており、学生一人ひとりへのきめ細かなキャリアサポートを行っています。

障がい学生支援

学部が中心となり、障がい学生支援センターや他の関連組織と連携を図りながら、大学全体で障がいのある学生の修学面をしっかりサポート。

障がい学生支援の詳細はこちらから

障がい学生支援センター

小白川キャンパスにある障がい学生支援センターでは、すべての学生が、障がいの有無にかかわらず、この山形大学で学びたいことを精一杯学ぶことができるよう、障がいのある学生への修学上の支援に関する相談対応や定期面談、学部等への助言、支援を担当する学生（YUハートサポーター）の養成･指導を行っています。障がい学生への支援にあたっては、学部、障がい学生支援センター、そして障がい学生本人と支援内容を十分に話し合い、密に連携を取りながら支援を実施します。

YU ハートサポーターの養成

障がい学生支援センターでは、障がい種ごとに支援技術養成講座を年に複数回開講しています。その講座に参加して支援技術を身に付けた学生（YUハートサポーター）が、空き時間を利用して障がい学生への支援を担当しています。障がい学生支援に関わることを通して、支援を利用する障がい学生もYUハートサポーターも互いに成長することが期待されます。

主な支援内容

区分	内容
共通	●授業や試験における支援や配慮に関する相談 ●授業担当教員への配慮依頼文書の作成･発行 ●ニーズに応じた情報機器等の利用支援
視覚障がい	●教材等のテキストデータ化及び拡大　●対面朗読、点訳、代筆 など
聴覚障がい	●手書きノートテイク、パソコンノートテイク、手話通訳 ●映像教材の文字おこし など
運動障がい	●アクセスのよい教室への変更及び机･椅子等の調整 ●学内移動支援、ポイントテイク　●駐車スペースの確保 など
内部障がい	●（慢性疾患等）定期通院等による欠席の配慮、ロッカー貸与、移動補助など
発達障がい	●個別相談･定期面談対応、課題提出期限の猶予、別室受験など
精神障がい	●定期通院等による欠席の配慮、途中入退室の許可、課題提出期限の猶予など

※具体的には、面談を行い、個々のニーズに応じて決めていきます。
※現在、聴覚障がい学生への情報保障支援体制は徐々に整備しているところです。

保険関係の詳細はこちらから

各種保険

学生生活の安心を支える保険を完備しています。

学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

正課中、学校行事中、課外活動中及び通学･施設間移動中における急激かつ偶然な外来の事故によって、身体に障害（ケガ）を被った場合に補償される保険です。安心して教育をうけられるよう全員が加入することになっています。

区分	内容
正課中	講義、実験、実習、実技等の授業
学校行事中	入学式、オリエンテーション、卒業式、大学祭等各種学校行事
課外活動中	授業以外に行う、大学公認の学生団体の文化及び体育活動中
通学･施設間移動中	住居と大学施設の往復、学校行事等による施設間の移動等
臨床実習中（医学部のみ）	接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合

学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠責）

「学研災」に加入している場合は、この「付帯賠責」にも加入でき、本学では「学研災」とセットで加入いただいています。この保険は、以下の活動中の事故等により、他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊したこと等により法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償されます。

保険名称等	学生教育研究賠償責任保険（学研賠）	医学生教育研究賠償責任保険（医学賠）
活動内容	●正課･大学行事及びその往復 ●インターンシップ、介護等体験活動、教職資格活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動及びその往復 （ただし、大学が正課、学校行事及び課外活動として認めた場合による。）	
対象	医学部を除く学部の学生	医学部の学生
補填限度額	対人賠償と対物賠償を合わせて1事故につき1億円程度 （※免責金額0円）	

寮・アパート

学生寮での暮らし

詳細はこちらから

学生寮は見学が可能です(平日のみ)。寮によって見学可能時間が異なりますので、事前に見学希望日時をご連絡ください。

名称	清明寮	北辰寮	紫苑寮	白楊寮	啓明寮
対象	人文社会科学部･地域教育文化学部（教育学部）･理学部･医学部･社会共創デジタル学環･工学部昼間コース1年次･農学部1年次			工学部昼間コース2年次以上･工学部フレックスコース	農学部2年次以上
	小白川キャンパス履修者･飯田キャンパス履修者			米沢キャンパス履修者	鶴岡キャンパス履修者
定員	男子213名･女子87名	男子80名	女子80名	男子210名･女子40名	男子36名･女子35名
寄宿料（月額）	18,000円	4,300円	12,000円	27,000円	18,000円
所在地	山形市大字平清水99	山形市東原町4-18-31	山形市香澄町2-10-18	米沢市太田町4-1-2	鶴岡市若葉町12-4
キャンパスまでの距離	小白川キャンパスまで3.2km	小白川キャンパスまで700m	小白川キャンパスまで2km	米沢キャンパスまで600m	鶴岡キャンパスまで500m
建築年	2001年	1980年	1977年	2019年	2013年改修
主な設備	ユニットバス（トイレ付）、ミニキッチン（IH）、冷暖房エアコン、給湯（電気）、高速無線LAN（無料）、机･イス、ベッド、衣類用ロッカー	冷暖房エアコン	冷暖房エアコン	ユニットバス（トイレ付）、ミニキッチン（IH）、冷暖房エアコン、給湯（電気）、高速無線LAN（無料）、洋服ダンス、本棚	ユニットバス（トイレ･ウォシュレット付き）、冷暖房エアコン
共同利用の設備等	面会室、談話室、洗濯室（コインランドリー）	風呂、トイレ、台所、冷蔵庫、洗濯室（全自動洗濯機、乾燥機）、リビング（談話室）	風呂、トイレ、台所、冷蔵庫、洗濯室（全自動洗濯機、乾燥機）、リビング（談話室）	食堂、交流室、面会室、洗濯室（コインランドリー）、自動販売機コーナー	ラウンジ、面会室、洗濯室（コインランドリー）、倉庫、トイレ、自動販売機コーナー
1ヶ月あたりの概算経費	約33,000円 寄宿料:18,000円 光熱水費:約15,000円 （共同負担分を含めた個人負担額）	約19,300円 寄宿料:4,300円 光熱水費:約15,000円 （共同負担分を含めた個人負担額）	約27,000円 寄宿料:12,000円 光熱水費:約15,000円 （共同負担分を含めた個人負担額）	約33,000円~62,700円 寄宿料:27,000円 光熱水費:約6,000円 食費（希望者）:29,700円	約28,000円 寄宿料:18,000円 光熱水費:約10,000円

※学生寮のデータは、令和7年度のものです。※寄宿料（月額）に食費や光熱水費等は含まれておりません。※学生寮はすべて個室です。※白楊寮では希望者のみ朝夕の食事を提供（食費別途）。
【入寮者の募集時期／各寮とも令和7年度4月からの入寮に合わせて毎年2月以降（欠員が生じた場合はその都度入寮募集）、白楊寮は前年度4月以降】

寮に関するQ&Aはこちらから

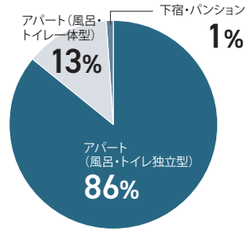
準学生寮

準学生寮の詳細はこちらから

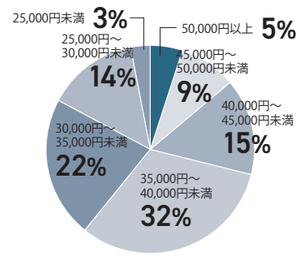
準学生寮とは、山形県、山形市、山形県住宅供給公社（以下「公社」）、山形大学、東北芸術工科大学が連携して、山形市の中心市街地の空き家･空きテナントを学生用シェアハウス等にリノベーションし、公社が管理する賃貸住宅です。現在、準学生寮は、山形大学の小白川キャンパスが所在する山形市の5か所に設けられています。

アパートでのひとり暮らし

山形大学生のアパートの内訳



山形大学生が住む賃貸物件の家賃帯



※山形大学生活協同組合調べ（2026年）

アパート費用（月平均）	
家賃	約36,500円
敷金	家賃の1～2ヶ月
礼金	家賃の0～1ヶ月
仲介手数料	家賃の0～1ヶ月

光熱水費（月平均）	
電気代	約5,900円
ガス代	約5,200円
水道代	約3,300円
インターネット	無料～約4,000円

アパート探しや新生活準備は山形大学生協で

山形大学生協では、山大生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう、現役山大生である先輩アドバイザーと生協職員が協力して新生活準備をサポートしています。お部屋探し、家具や教材の購入、大学生協･共済等の加入手続を行えます。現役山大生の話を聴きながら新生活準備を行うことで、実際の大学での生活をイメージできます。

アパートを探す

山形大学生活協同組合
住まいの事業部
TEL:023-641-4380
e-mail:ymgt.sumai@univ.coop

アパートなどを探す

山形 宅建 検索

山形県宅地建物取引業協会

学費

学びたい学生の意欲をサポートするために、授業料免除や分納制度を用意しています。

4年間の費用（学費・生活費）の比較（山形大学と首都圏私立A大学）

「入学費」と4年分（48ヶ月分）の「学費」、「アパート・マンション等でのひとり暮らしにかかる生活費」の合計を比較しています。

最大 約748万円 の差

山形大学　合計 約8,346,200円

山形大学は約1/2の費用!

首都圏私立A大学（文系）　合計 約13,932,000円

首都圏私立A大学（理系）　合計 約15,832,000円

学費　生活費

※「第61回（2025年）学生生活実態調査（データ集）山形大学生協調べ」
　首都圏私立大学のデータは令和8年5月現在、ホームページや大学パンフレットを参考に記載したものです。

入学料

全学部・学環　282,000円（予定額）※工学部フレックスコースは半額

授業料

全学部・学環　535,800円（予定額）※工学部フレックスコースは半額

授業料年額：535,800円（予定額）

納付回数	全学部・学環　※工学部フレックスコースは半額
年1回払い 1年間分の授業料を4月に振替	535,800円
年2回払い 前期4月、後期10月に振替	267,900円×2回
年10回均等払い 4～8月、10～2月に振替	53,580円×10回
年10回ボーナス併用払い 年10回払いで、前期8月、後期1月にボーナス分を加算して振替	4～7、10～12、2月 26,790円×8回 8、1月 160,740円×2回

授業料の納付方法

山形大学では、授業料の納付回数を選択できます。本学の授業料は、皆様の希望に応じて右記の4パターンから選択して納付していただきます。

学費の免除等

山形大学は、文部科学省が令和2年4月より運用している「高等教育の修学支援新制度」の対象機関であり、意欲ある学生に対する入学料・授業料の免除及び減額を実施しています。免除及び減額の適用を受けるには、本制度にて給付奨学生として採用される必要があり、免除額等は給付奨学金の支援区分に応じて決定されます。また、「多子世帯に対する大学授業料等の無償化」による支援を希望される方も給付奨学金への申請は必須となり、その申請を通じて多子世帯の審査が行われ、採用となれば授業料等無償化の対象となります。

日本学生支援機構 給付奨学金

文部科学省 修学支援新制度

教科書・参考書の販売

〈山形大学生協でサポート〉

大学生は自分で講義を選択し履修登録を行い、教科書を揃える必要があります。山形大学生協では学生の皆さんに必要な教科書を準備できるよう事前に教職員に、講義で使用する教科書について聞き取り調査を行い、必要な教科書を揃えています。4月・10月に教科書特設会場を設置し、教科書販売を行っております。

各学部での1年生4月目安購入額	
人文社会科学部	約20,000円～約22,000円
地域教育文化学部（教育学部）	約22,000円～約24,000円
理学部	約21,000円～約23,000円
医学部医学科	約10,000円～約12,000円
医学部看護学科	約21,000円～約23,000円
工学部	約15,000円～約17,000円
農学部	約10,000円～約12,000円

奨学金制度

学業・人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難な方に対して、日本学生支援機構、地方公共団体等からの奨学金制度があります。

日本学生支援機構奨学金

申込みは在学している高等学校等の奨学金窓口を通して行うことができます。申込みの詳細や提出期限は、在学している学校へお問い合わせください。また、大学に入学してから申し込むこともできます。

給付型奨学金

住民税非課税世帯又はそれに準ずる世帯で意欲がある学生に対して、大学等への進学や進学後の経済状況を後押しするための、返還が不要な給付型の奨学金です。別途、大学に申請を行うことで、授業料等の免除も同時に受けることができます。

区分	給付金額（月額）	
	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	約29,200円（33,300円）	約66,700円
第Ⅱ区分	約19,500円（22,200円）	約44,500円
第Ⅲ区分	約9,800円（11,100円）	約22,300円
第Ⅳ区分（多子世帯）	約7,300円（8,400円）	約16,700円

※カッコ内は生活保護世帯等の金額

貸与型奨学金

大学・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）及び大学院で学ぶ人を対象とした、貸与型の奨学金です。これまで多くの先輩たちが利用してきました。奨学金は、学生が自立して学ぶことを支援するために学生本人に貸与されます。奨学生が返還するお金は、次の世代の奨学金として使われ、先輩から後輩へとリレーされていくものです。これらを理解し、有効かつ計画的に利用しましょう。

種類		貸与金額（月額）
第一種奨学金（無利子）	自宅通学	20,000円・30,000円・45,000円から選択
	自宅外通学	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円から選択
第二種奨学金（有利子）		20,000円～120,000円までの間で1万円単位で選択

※貸与金額（月額）は、令和7年度のものです。

山形大学独自の奨学金

山形大学山澤進奨学金

公益財団法人ヤマザワ教育振興基金代表理事・山澤進様から、山形大学の発展と地域振興のために役立ててほしい、とのお申し出により寄せられた奨学金を基に創設した修学資金支援制度です。学業が優秀で、かつ経済的理由により山形大学への進学が困難な方で、卒業後、山形県の地域振興に貢献してくださる方を、選考により奨学生として採用します。申込みは在学している高等学校等の奨学金窓口を通して行います。

月額	サポート期間	人数
50,000円	4年間（医学部医学科は6年間）	最大8人

※入学料及び授業料を免除。

YU Do Best 奨学金

優秀な学生に、存分に勉学に励み、そして安心して生活できる教育・研究環境を提供するため、選考により奨学金を支給します。

月額	サポート期間	人数
30,000円	2年間・学部3年生、4年生（医学部医学科は5年生、6年生）	10人程度

山形大学修学支援事業学生支援奨学金

経済的理由により、一時的に授業料等の支払いが困難になった学生に対し、申請により、30万円を上限として、貸出しを行う奨学金制度があります。

※その他奨学金として、自治体や民間財団が実施している奨学金があります。
　財団等の奨学金は給付型（返還なし）もあり、大学進学前に高校予約型に採用されれば、入学から卒業時まで奨学金を得ることもできます。情報収集により条件が合えば多額の奨学金が受給できる場合があります。

※奨学金の対象者・選考方法など、詳しくは本学ホームページ（学生生活のページ）でご確認ください。また、ここで掲載した奨学金以外にも、山形大学学生が応募しているものとして「インテグリスSTEM奨学金」「日揮・実吉奨学会」などがあります。山形大学では募集があった民間等の奨学金情報を随時ホームページに掲載しています。

詳細はこちらから

就職支援プログラム

就職支援・キャリア支援の情報はこちらから

山形大学での就職活動状況を知りたい人は、キャリアハンドブックwebサイトにアクセス!

山形大学は就職に強い

就職率 100%!! ※

本学では学生のキャリア・就職支援を専門に行う「キャリアサポートセンター」を設置し、学生一人ひとりへのきめ細かなキャリアサポートを行っています。学年や時期に応じた情報提供、各種就職セミナーはもちろん、マンツーマンでのキャリアカウンセリングの体制も整っています。またオンラインでの支援も充実しています。

※令和8年3月卒業生の就職率（就職決定者／就職希望者）

就職も進学も多様な進路が選択できる

民間企業 573名

臨床研修医・看護師等 148名

公務員・教員 256名

進学 541名

※就職・進学者数は令和8年3月卒業生の実績です。

就職支援の流れ

学年	1~2年次	3年次	4年次
就職支援プログラム	自己理解を深め、将来の進路を考えていくために、全学部生が履修できる「キャリアデザイン」「プレインターンシップ」「仕事の流儀」など、様々な授業を開講しています。授業を通して、本学の卒業生や社会人の方からお話を聞くことで、働くことがイメージできるような内容も充実しています。	各種就活ガイダンス	地域就職応援セミナー
		各種就職対策セミナー	個別継続支援
		内定塾・実践型就職対策講座	
	個別就職相談（キャリアカウンセリング）・個別面接指導		
	オンライン面接用の個室・機材貸出		
	企業及び自治体との学内交流会		
その他		大学生協と連携した 公務員試験対策・教員採用試験対策講座	

▶ 自分にあった進路・就職の実現

進路選択、就職活動対策

就職対策セミナー

自己分析・業界研究・面接対策。就職活動に必要な知識を基礎から学びます。他では得られない山形大学生に特化した内容が好評です。

事務系インターンシップ・技術系インターンシップ

授業として大学が斡旋する約150機関から選択し、5日間以上の現場実習（職業体験）を行います。将来を見据え、身に付けた知識や能力を試します（2・3年次夏）。事務系インターンシップだけでなく、技術系インターンシップも充実しています。

内定塾

自己分析やエントリーシートの書き方、面接対策などを、段階的に進めていくシリーズセミナーです。少人数指導でじっくり就職活動の準備ができます。

実践型就職対策講座

1日で必要なスキルを実践形式で体得します。自己PR作成から面接練習まで少人数で集中して対策を行う、実力と自信がつく講座です。

個別就職相談（キャリアカウンセリング）

進路選択についての相談、就職活動の応募書類の添削や面接練習をしたい! という声に応えて、個別相談体制が充実しています。オンラインでの相談も実施しています。

公務員・教員採用試験対策

公務員講座ガイダンス

公務員を目指すために必要な知識や対策を学びます。3年次の春から試験対策を始める学生が多いので1・2年生対象に冬に開催します。

教員採用試験 面接対策セミナー

教員志望の学生向けに特化した面接セミナーを開催しています。試験を受ける機関を想定し、過去の出題例も踏まえ対策をします。

山形大学生のための OB・OG 訪問サイト

本サイトは、実際にOB・OG訪問をしているかのように、会社/仕事紹介や後輩へのアドバイスなどを動画で視聴することができるサイトです。OB・OGの出身学部（研究科）・業種・職種・本社所在地から動画を探すことにより、OB・OGとの出会いを通じて様々なキャリアに触れることができます。

Point 1 山形大学の先輩の就活アドバイス（動画）が一度に聞ける!

Point 2 自分の所属する学部の先輩から、仕事の魅力を教えてもらえる!

Point 3 先輩との出会いから、企業選びの選択肢が広がる!